

平成28年度平塚市子ども・子育て会議
第1回公立園の在り方検討部会 会議概要

日時：平成29年2月6日（月）13時30分～14時
場所：平塚市勤労会館 中会議室（2階）

1 議事

(1) 公立幼稚園及び公立保育園の方向性について

事務局が本市における幼保一元化に関する公立園の見直しについて、資料1「平塚市幼保一元化に関する公立園の見直しについて（案）（概要版）」、資料2「平塚市幼保一元化に関する公立園の見直しについて（案）」に基づき説明した。

【質疑応答は次のとおり】

委員：説明の中で、幼稚園教諭と保育士資格を併せ持つ者を市長部局で一元的に採用するとあったが、両資格を持つ者のみを採用するということか。

事務局：これからは、両資格を持つ者を採用条件と考えている。

委員：公立幼稚園を順次廃園にするという案だが、私立幼稚園についても、約6割しか稼働していない状況である。近年は、子どもが集まらないという課題だけではなく、幼稚園教諭等人材も集まらない状況となっている。公立幼稚園の教諭が、私立幼稚園に勤務すると助かるが、給料の差が大きい。処遇改善等も実施しているが、追いつかない。保育士の免許は更新の必要はないが、幼稚園教諭の免許は10年毎に更新が必要である点も人材不足に繋がっている。さくら幼稚園と金目幼稚園について廃園になると説明があったが、廃園後の計画について教えていただきたい。

事務局：建物の老朽化が進んでいるため、取り壊すことを予定している。土地については、売却を基本に考えるが、自治会等と協議をしながら決定する。

委員：豊田幼稚園は、現在子育て支援センターとして利用しているが耐震については大丈夫か。

事務局：豊田分庁舎については、耐震診断を実施し、建物自体が鉄筋コンクリートの一階建てであり、耐震補強は必要ないと結果が出ている。

委員：公設公営として残るひばり幼稚園については、耐震改修を行う予定はあるのか。

事務局：ひばり幼稚園については、耐震診断の結果、耐震補強は必要ない。しかし、老朽化は進んでいくため、随時、修繕等は行っていく予定。

委員：全ての園で耐震診断はしているのか。

事務局：全ての園で、耐震診断は実施している。

委員：資料1の4「今後の見直しについて」の箇所、平成32年度上半期までに最終的な結論を出すというのは、ひばり幼稚園のことでいいのか。また、公立保育所について、当面は記載されている方向性で進めていくということか。

事務局：ひばり幼稚園については平成32年度上半期までに最終的な結論を出し、保育所については保育需要等の状況により随時見直す。

委員：廃園する幼稚園の入園停止はいつになるのか。

事務局：平成30年度から一部停止し、平成31年度は、5歳児のみ在園という形となる。

委員：単学年のみになる場合は、入園を希望しない、辞退する方もいるため、廃園する園についてはしっかり周知をしていただきたい。

出席者：落合委員、黒田委員、鷺尾委員、鈴木委員、本田委員、森下委員、阿部委員

傍聴者：なし

事務局：健康・こども部長、保育課長、教育総務課長、企画政策課2名、保育課5名、教育総務課2名

以上